

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

今一度、SNSの利用について考える

あるネットニュースを見ていて、気になる記事があったので紹介します。ちょっと長い文章ですが、ぜひお子さんと一緒に読んでいただきたいです。

フジテレビの番組「テラスハウス」に出演していた女子プロレスラーの木村花さん(当時22歳)が亡くなった問題で、警視庁は近く、ツイッターで木村さんを中傷したとして、大阪府の20歳代の男を侮辱容疑で書類送検する方針を固めた。木村さんへの匿名(とくめい)の誹謗(ひぼう)中傷は数百件に上ったが、中でもこの男が特に悪質な投稿を繰り返していたことから、摘発して処罰の可否を問う必要があると判断した。

捜査関係者によると、男は5月中旬頃、木村さんのツイッターの投稿に対し、「生きている価値あるのかね」「いつ死ぬの?」などと複数回にわたって返信の書き込みを繰り返し、木村さんを公の場で侮辱した疑い。調べに容疑を認め、「番組を見て嫌いになり、心を傷つけたいと思った」と供述している。※読売新聞発信

私が気になったのは、このニュースそのものよりも、これに寄せられたコメントでした。

高橋暁子(ITジャーナリスト)

このように匿名でも個人を特定することはでき、今後悪質なものはさらに簡単に特定できるようになる予定です。匿名に隠れると攻撃性が強くなるのがよく指摘されますが、ひどい誹謗中傷はこのように処罰されること、他人を深く傷つけることをもっと知るべきです。この人物は「傷つけたい」意図がありましたが、子どもたちは必ずしもそうではありません。

悪口投稿前に「Rethink(考え直して)」と表示して相手を傷つける可能性が高いことを示したところ、93%も悪口の投稿を減らすことができたという実例があります。感情のまま考えなしに投稿することで、このような悲しい結果につながります。投稿前には必ず見直して、本当に投稿してもいいのか考え直してから投稿する癖をつけてもらいたいです。

私は特に、_____のところに注目しました。ネット上には、時には人の命をも危険にさらす悪意ある書き込みがあふれていますが、子どもの投稿にそこまでの意図があるかという、必ずしもそうでない場合もあります。胆沢中で今まであった事例を見ても、「面白そうだからリツイートしてみた」とか、「特に気にも留めず、うっかり投稿してしまった」というパターンが多いように感じています。リツイートについて、こんな解説もありました。

「罪に問われるのは、最初に書き込んだ人だけではありません。リツイートした場合も、改めて自分が発信するわけですから、犯罪として成立し得ると思います。その場合、最初に書き込んだ人より若干軽い罪になることはありうると思います。

コメントつきでリツイートする人も多いと思いますが、そのコメントがツイートに同調するようなものであればより重い罪に問われるでしょう。同調するコメントを付けないリツイートより悪質性の高い行為になりやすいので、最初に書き込んだ人よりも重い罪になることも考えられます」(荒井哲朗弁護士)

つまり、「へえ～、知らなかった」、「おもしろいからみんなに教えてあげよう」といった軽い気持ちでリツイートしたとしても、そのことによって誰かが傷ついたり、自ら命を絶つような事態が起こったりした場合、罪に問われる可能性が十分あるということなのです。では、加害者にならないためにはどのようなことに気をつけたらいいのでしょうか。

例えば一般の社会では、差別的なことを面と向かって言ったらダメだということは、およその人は理解しています。同じように、面と向かわなくても、第三者に『あの、〇〇なんだって』と言ってもいけません。「コメントを書く、リツイートする」ということはそういうことなのです。ネットに書き込むのは、実際に相手に直接(または陰で)言うことと同じこと(影響を考えるとそれ以上?)で、それが果たして適切かどうか判断することが大切なのです。いよいよ冬休みに入ります。このことについて、ご家庭で話題にさせていただきよう願います。

冬将軍、いよいよ到来



突然真冬になってしまいました。胆沢中の校庭にも、優に50cmを超える積雪があり、登下校にもかなりの影響が出てきています。しかしながら今年も野球部のボランティアのおかげで、朝の昇降口はしっかりと除雪がなされています。また、昼休みになると結構の人数が外に出て、雪合戦やお約束の新雪ダイクに興じています。雪は必ずしも悪いことばかりをもたらすわけではありませんが、これだけ降るとかなり負のダメージが大きくなってきます。私も金ヶ崎からの14km程の通勤に、50分以上かかってしまいました。北上から通っている先生は、何と3時間以上かかったそうです。

この状況はしばらく続くようで、雪かきに費やす時間も大幅に長くなりそうです。こんな時こそ中学生の出番です。このコロナ禍によって、ボランティアの機会をほとんど逸していましたので、ここはぜひ家庭でのボランティアにいそしんでほしいと思います。ご近所のご老人世帯へのスノーバスター出動も、きっと喜ばれること間違いなしです。

16日(水)は、急な下校時刻の変更にもかかわらず、迅速に対応していただき誠にありがとうございました。これからも安心安全を最優先に、学校運営を進めてまいります。学びフェスト評価へのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

岩手県、男子34位、女子6位?

これは何の順位だと思いますか。じつはこれ、一日30分以上本を読む人の割合を示しています(一般社団法人ストレスオフ・アライアンス調査による)。具体的にいうと、岩手県民は、男子の19.1%、女子の22.6%の人が一日30分以上本を読んでいるというのです。ちなみに男子の1位は25.3%の東京都で、女子の1位が25.5%の栃木県という結果が出ています。東京都の男子が1位なのは、通勤中の電車の中で本を読むサラリーマンが多いことと関係があるのかもしれない。

3年生の面接練習でも、「趣味は何ですか」という問いに対して、相当数の女子から「読書です」という答えが返ってきました。コロナ禍による巣ごもり生活で、ネットに触れる時間が大幅に増えたという人がいる半面、読書量が増えたという話はあまり聞きません。「今年も暖冬か?」という淡い期待も、この大雪で大幅修正を余儀なくされそうです。そこで是非家でのご過ごし方の中に、読書に割く時間を増やしてほしいと思います。冬休み中も図書館の開館日を設けていますので、ぜひ利用してください。

「クリスマスプレゼントは図書カード」という選択も、ナイスで素敵なチョイスだと思います。

奥州市ジュニアバドミントン大会

中学1年生男子ダブルス

第3位 高橋奏仁 高橋健太

中学1年生女子ダブルス

第3位 小野寺優菜 小野寺葵

中学2年生女子シングルス

第3位 菊地はな



※オンラインでの開催が予定されていた科学の甲子園全国大会は、諸事情により残念ながら中止となりました。20日にはアンサンブルコンテスト支部大会が行われ、これで年内の諸大会は一段落となります。令和3年度での活躍も大いに期待したいと思います。

冬休みを長くしてほしい

という声を、1年生からたくさんいただきました(学びフェスト自己評価の自由記述より)。本校の年間授業日数は205日で、夏休みと春休みが若干長くなっています。受験日程を考えると、冬休みを短くせざるを得ません。3年生になればきっとわかります。

